

法人職員が利用するクラウドサービスへの不正ログインによる迷惑メールの送信、及び個人情報漏えいのおそれについて

この度、当法人が利用しているマイクロソフト社のクラウドサービス（Microsoft365）にて、職員に付与したアカウントのパスワードが不正に窃取され、迷惑メールが送信されました。かつ、個人情報が含まれるメールが閲覧できる状態であったことが判明しました。

現時点で、メールの内容等が悪用された事実は認められません。また、電子カルテなどの医療情報システムへの不正なアクセスはありませんでした。

このような事態を招いたことを深くお詫びするとともに、個人情報の厳格な取扱いの徹底等を行い、再発防止に努めてまいります。

1 経緯

令和4年10月31日4時頃に、システムから、「メッセージを多数送信したのでユーザ制限をかける」と通知があり、調査の結果、5件のアカウントから、学外へ迷惑メールの送信、また海外のIPアドレスから、6件のアカウントに対し、不正なログインを確認し、個人情報が含まれるメールが閲覧できる状態であったことから、個人情報漏えいのおそれがあると判断しました。事実確認後、すぐに当該職員等のPCをウイルス対策ソフトでフルスキャン並びにアカウントのパスワード変更をしました。その後、不正ログインがないことを確認しています。

2 迷惑メールの送信（10月31日）

学外（メールアドレスから海外と思われる）へ迷惑メール1,120件（うち送信成功781件）

3 メールが閲覧可能な状態となった（10月14日～31日）

不正ログイン者が次の個人情報を含むメールを閲覧できる状態でありました。

なお、不正ログイン者がこれらの個人情報を閲覧したかは不明です。

- ・ 治験患者1名の「疾患名」、「氏名」、「性別」
- ・ 共同研究者及び治験関係者の「氏名」、「電話番号」、「メールアドレス」約800件

4 原因

所属内で共有して使用しているPC1台、職員使用のPC1台から不正プログラムが発見されましたが、パスワードが窃取された原因は、現時点で不明です。

5 対策

技術的対策を行うとともに、個人情報保護や情報セキュリティの確保に関する教育研修を強化し、職員の意識向上を図るなど、再発防止に努めます。

6 関係者への対応

治験患者、共同研究者、治験関係者の方々に、順次連絡を行っております。

公立大学法人奈良県立医科大学
情報推進室
電話：0744-22-3051（代表）